



落五便り

11月号

新宿区立落合第五小学校

本に触れ合う機会を

校長 古谷 勉

10月11日(土)の開校60周年記念式典並びに祝う会には、多数のお客様にご出席いただきました。厚く御礼申し上げます。式典を通して、昔と今の落五小を振り返られたこと、緊張感のある場を経験できたことは、子どもたちにとっても有意義なことであったと思います。

さて、10月20日より、読書月間が始まっています。本校では読書指導にかかわる昨年度の反省をもとに、いくつかの改善策を実施しています。

- ・幅広い読書をさせるため、課題図書を各学年で5冊以上決め、読ませる。
- ・読書週間を月間とし、昨年度実施した教師による読み聞かせ、縦割り班での5.6年生による読み聞かせに加え、図書スタッフ・支援員によるお話プレゼント集会を行う。

などです。また、図書室が各教室からやや遠いということもあり、昨年度から可能な限り教室にも図書を置いて、すぐに手にとれるようにしています。いずれも、多くの本に触れてほしい、調べたいことがあれば自分で図書資料をあたってほしいとの願いからです。

以前、保護者の皆様から、どのようにしたら子どもが本を読むようになるのかと質問を受けたことがあります。基本的には次の3つを地道に続けることであると考えています。

- ・読み聞かせなど、本とたくさん触れ合う場を与えてあげること。
 - ・一緒に図書館に行き、本を選んであげること。
それもまずは、親の読ませたい本ではなく、子どもも本位で楽しいと思える本を選んであげること。
 - ・親自身が読書を楽しんでいる姿を見せること。
- それでも、読書に興味をもてない子もいますが、焦らず根気強く続けていくことが大切です。

本を読んで知識を得たり、感動を味わったりすることで、私たちの人生は豊かになります。小学生時代は、その種をたくさん蒔いてあげる時期です。この読書月間を、ご家庭でも本を読む機会にしていいただければ幸いです。



教員による読み聞かせ

日	曜	11月の行事予定
1	土	東京都教育の日
2	日	
3	月	文化の日
4	火	全校朝会 安全指導
5	水	お話(読書)集会 外国語活動 地域清掃(1・6年) 研究授業(5年図工) 4時間授業(5年以外)
6	木	個人面談①
7	金	音楽朝会 区教育委員会一般訪問
8	土	
9	日	
10	月	全校朝会(落ち葉拾い)
11	火	個人面談②
12	水	染物縦割活動 外国語活動 4時間授業 *就学時健診
13	木	読み聞かせ集会 避難訓練 委員会活動⑥
14	金	個人面談③
15	土	
16	日	
17	月	全校朝会
18	火	社会科見学(4年) 個人面談④
19	水	染物縦割活動 外国語活動 4時間授業
20	木	読書月間終 百人染め活動 個人面談⑤
21	金	ゲーム集会
22	土	
23	日	勤労感謝の日
24	月	振替休日
25	火	全校朝会
26	水	外国語活動
27	木	クラブ活動⑨
28	金	かがやき集会
29	土	*避難所開設実地訓練
30	日	

11月の目標

- ◎生活目標：物を大切にしよう。
- ◎保健目標：かぜの予防につとめよう。
- ◎給食目標：給食の後始末をきちんとしよう。

～4年1組 新担任の紹介～

○ 加茂 利恵子 教諭

担任の鈴木 智子主任教諭が10月24日(金)で産休に入り、27日(月)より着任しました。

式典を終えて ～2年生～

2年1組担任 永井 大輔

開校 60 周年記念式典が終わって、教室に帰ってきた2年生の子どもたちからは、「上手くできてよかった」「緊張した」「終わってよかった」などの言葉が聞かれ、大きな行事を乗り越えた安堵の表情と自信に満ちた表情を浮かべていました。

式典に向けての練習期間は2週間ほどありました。2年生の子どもたちは、はじめ式典とは楽しく賑やかなパーティーをイメージしたようです。そこで、式典とはどのようなものか説明するところから始めました。そして、練習が始まると、長い時間座ったり立ったり、静かにしていたりする厳粛なものでした。大きな行事に参加する経験が浅い2年生にとっては、とても大変だったようです。背筋を伸ばして座ったり、じっと我慢したり…。練習が終わると、「疲れるー」「肩がこるー」と言っていました。そして他の学年との合同練習が進むにしたがって、表情も引き締まり、真剣な眼差しで取り組むようになりました。式に参加する心構えもできてきました。

2年生は本番に向けて、歌と呼びかけに力を入れ練習してきました。歌が大好きな2年生です。式で歌う「明日を信じて」は、教室で伴奏のCDを流すとすぐに歌だし、自然にみんなで声を合わせていました。体育館での全体練習では、1・2・5年生と3・4・6年生で2つのパートを合わせる練習をしました。自分たちのパートに集中して、歌声が重なるように大きな声で歌いました。呼びかけは、全員で言う台詞と一人ずつの台詞がありました。2年生は一人ずつ言う台詞が8つあり、オーディションをして決めた8人が担当することになりました。オーディションには、16人が名乗りを上げ、それぞれ頑張りました。選ばれた8人はもちろん、代表になれなかった子も、欠席した子がした場合のサポート役として、本番当日まで一緒に練習しました。一人ひとりが責任をもって取り組む姿が見られ感心しました。

式典当日、児童席の横にも後ろにもずらりと並んだ、来賓の方々に驚いていました。多くの人々が落五小に関わってくださっていることを感じたようです。子どもたちの表情は緊張していましたが、今までの練習の成果を発揮し、全校と一緒に素敵な歌声を重ね合い、大きな声ではっきりと呼びかけをし、どの子も満足のいく合唱と呼びかけができました。



式典「児童喜びの言葉」

子どもたちの感想を紹介します。

「ドキドキしたけど、上手くできた」

「練習は大変だったけど、最後までできてよかった」

「みんなと一緒に落五小をお祝いできてよかった」

式典に参加したことで、またひとつ大きく成長した2年生でした。

トライ&チャレンジ (ふれあい運動)

生活指導主任 久保田 朋子

1学期は6月、2学期は11月、3学期は2月を「ふれあい月間」とし、人と人との心のふれあいを大切にしているという取り組みを行っています。

学校では、アンケートやスクールカウンセラーとの面接などを通して子どもたちの声を丁寧に聞き取り、よりよい人間関係が築けるように支援しています。また、代表委員会や高学年有志を中心に「あいさつ運動」にも取り組んでいます。友達や先生、主事さん方、お家の方や地域の方々といつでも気持ちの良い挨拶ができる子どもたちになってほしいと思っています。

今月は学校生活を支えてくださっている方々へ、感謝の気持ちを手紙で伝える活動も行います。

この様に学校行事や様々な活動を通して豊かな人間関係を育んでいきたいと思います。

開校 60 周年を振り返り

周年委員会委員長 佐藤 順

今年度、本校は開校 60 周年の佳節を迎え、開校記念集会、資料室の整備、地域に関する学習活動の充実など、落五小の 60 歳の誕生日を祝う様々な活動を行ってきました。一つ一つが児童や教職員にとっては、とても充実した行事や活動となりました。これらの行事や活動を重ねるごとに、これまでの落五小を支えてくださった先人の願いや努力を感じ、学校や地域を愛する心はより深まってきたことを実感します。

さて、10月11日には記念式典が催され、1～6年生の全校児童が参加しました。落五小の歴史、地域の素晴らしさ、伝統を引き継ぎこれからも頑張っていく決意を、呼びかけや歌を通して一人ひとりが堂々と表現しました。来賓の方々からは、温かくも盛大な拍手をいただきとても感動した記念式典となりました。

児童には、記念式典を含め60周年に関わる様々な行事を通して、落五小のよさやこの地域で暮らす喜びを一層感じるようになってほしいと思います。

第23回 ジョイントコンサート

金管バンド部顧問 宮川 裕子

地域の伝統行事である「ジョイントコンサート」に、今年度も本校金管バンド部が出演させて頂き、「アデステ・フィデレス」と「茶色のこびん 2」の二曲を演奏しました。

週3回の朝練習や月3回の放課後練習の他、夏休みの期間も活用して基礎練習に取り組み、一人ひとりがしっかりと音を出せるように努力を積み重ねてきました。高い音がなかなか出せなかったり、リズムが覚えられなかったりと、たくさんの難題にぶつかりながらも、友達と教え合ったり、休み時間に自主練習に来たりと、子どもたち自身で考え、協力しながら合奏を作り上げました。本番では6年生全員のソロをはじめ、鍵盤ハーモニカ・リコーダーの演奏も光り、全員の気持ちが揃った演奏になりました。演奏直後の子どもたちの笑顔に、さすががしさが感じられるステージでした。